

# 記念作文コンクール 最優秀賞作品のご紹介

町制施行65周年を記念し、五城目小学校5、6年生78人を対象に実施した作文コンクールは、審査の結果、工藤瑠夏さん（五城目小6年・雀館）が最優秀賞を受賞しました。  
その作品をご紹介します。

## 「新しい五城目町へ」と

私は、五城目町の未来が子どもと大人のかげが無く、とても栄えているといいなと思います。だから、まず今の地域の方との関わりと五城目町の良いところを見つめたいと思います。

今、地域の方と関わる行事といえば、学校の運動会や学習発表会などがあります。他にも、町の運動会、七夕まつりなどがあるので、どれも私たちと地域の方が直接関わっているとは言えません。すると、町によって、新校舎の工事が始まりました。工事が始まると、私たち6年生は総合の学習で新校舎のことを知ることにな

りました。

まず、新校舎説明会で、新校舎には、地域の方と共有して使う、図書・メディア棟があることが分かりました。ここで私は、今よりも地域の方と関われるのではないかと考えました。例えば、図書室でお話し会を行って、地域の方も、私たちも楽しめたらいいと思います。近い未来、このようなことが実現し、楽しく学校生活を送れるようになってほしいです。

次に、五城目町の良いところでは、五城目町には、伝統のある朝市があります。今まで朝市は、若い人を集めるために、朝市プラスへ進化してきました。朝市プラスは、日曜のみの開催なので、多くの人が集まり、栄えています。こ

五城目小学校6年  
工藤 瑠夏さん（雀館）

れから、もつとにぎやかにするために、どんなことができるのか、私なりに考えてみました。  
一つは、朝市プラスで、五城目町の有名な食べ物を紹介するコーナーを作ることです。朝市プラスという、人が集まる場で五城目町をアピールして、インターネットなどでいろいろな人に知ってもらいと良いと思います。これを実現させたら、五城目町の未来は今よりも栄えていて、にぎやかな町になると思います。

もう一つは、五城目町の観光地です。観光地といっても、ネコバリ岩や森山など自然のものが多くないので、あまり知られてもらう機会がないと思います。だから、造り酒屋や温泉施設などを通して、いろいろなことを知ってもらいたいと思います。これが実現したら、県内の人に限らず、国内・海外の人たちにも楽しんでもらえる、楽しい町になるのではないかと思います。

このように、私は五城目町が、子どもでも、大人でも楽しく暮らせて、町外の人たちも集まり、とてもにぎやかで楽しい町になってほしいと思います。また、この伝統ある朝市を、100年、1,000年……と受け継いでいきたいです。

【令和元年8月15日】

気温が本町の観測史上最高となる38.1度を記録。同日に開催された「きやどっこまつり2019」のステージでは、町出身のプロダンサーのKO-TANGさんが、来場者とともにフラッシュモブを披露。



【平成28年3月30日】

近所に商店がなくなり、買い物が不便になった内川浅見内地区にお互いさまスーパー「みせっこあさみない」がオープン。

【令和元年9月6日】  
千代田区との姉妹提携30周年記念式典を町民センターで開催。



【平成28年5月15日】

朝市が日曜日と重なる日を「ごじょうめ朝市plus+」として開催。（写真は本町部祭典が行われた日の朝市plus+）



【令和2年5月16日】

新型コロナウイルス対策として、町内の縫製会社で製造された布製のマスク2枚を全町民に配布。



2016

■平成28年3月30日  
内川浅見内地区に、お互いさまスーパー「みせっこあさみない」がオープン。

■平成28年4月10日  
「ごじょうめ朝市plus+」がスタート。

■平成29年11月1日  
広報「ごじょうめ」1,000号を発行。

■平成30年10月26日  
県道秋田八郎瀧線町村バイパスが開通。

■令和元年8月15日  
気温が本町の観測史上最高となる38.1度を記録。

■令和元年9月6日  
千代田区との姉妹提携30周年記念式典を町民センターで開催。

■令和2年4月16日  
新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国に緊急事態宣言が発令。

■令和2年5月16日  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町独自で町民に2枚ずつマスクを配布。

2020

2019

2018

2017